

みずほCustomer Desk Report 2017/01/04号(As of 2017/01/03)

【昨日の市況概要】

	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY	USD/CHF	公示仲値 GBP/USD	AUD/USD
TKY 9:00AM	117.49	1.0458	122.91	1.0242	1.2287	0.7196
SYD-NY High	118.60	1.0490	123.30	1.0335	1.2306	0.7241
SYD-NY Low	117.20	1.0340	122.29	1.0212	1.2200	0.7184
NY 5:00 PM	117.74	1.0406	122.53	1.0275	1.2240	0.7220
USD/JPY Volatility 1M ATM (NY Close Lvl)	12.99/13.765		△25RR	0.935	Yen Call Over	
NY DOW	19,881.76	119.16	債券市場			
NASDAQ	5,429.08	45.97	日本2年債	-	-	-
S&P	2,257.83	19.00	日本10年債	-	-	-
日経平均	-	-	米国2年債	1.2141	2.6bp	
TOPIX	-	-	米国5年債	1.9422	1.5bp	
シカゴ日経先物	19,380	270.00	米国10年債	2.4444	0.0bp	
ロンドンFT	7,177.89	35.06	独10年債	0.2640	7.5bp	
DAX	11,584.24	▲14.09	英10年債	1.3300	9.1bp	
ハンセン指数	22,150.40	149.84	豪10年債	2.7480	▲1.7bp	
上海総合	3,135.92	32.28	為替市況	USD/CNH	6.9590	▲0.0161
USDJPY 3M Vol	12.90	▲0.13%	ドルインデックス	ドルインデックス	103.21	0.43
USDJPY 6M Vol	12.74	▲0.05%	商品市況	CRB指数	190.146	▲2.37
EURJPY 3M Vol	12.05	▲0.29%		NY金	1,162.00	10.30
EURJPY 6M Vol	13.63	▲0.10%		WTI	52.33	▲1.39
				Dubai Spot	55.25	1.26

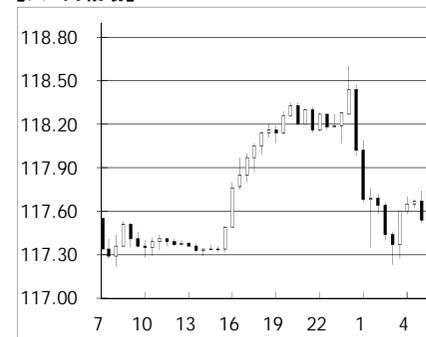
【昨日の指標等】

Date	Time	国	Event	結果	予想
1月3日	18:30	英	マークイット製造業PMI	12月 56.1	53.3
	22:00	独	消費者物価指数・速報値(前月比/前年比)	12月 1.7%/0.7%	1.4%/0.6%
	22:00	独	EU基準CPI(前月比/前年比)	12月 1.0%/1.7%	0.6%/1.3%
	23:45	米	マークイット製造業PMI	12月 54.3	54.2
	0:00	米	ISM製造業景況指数	12月 54.7	53.8

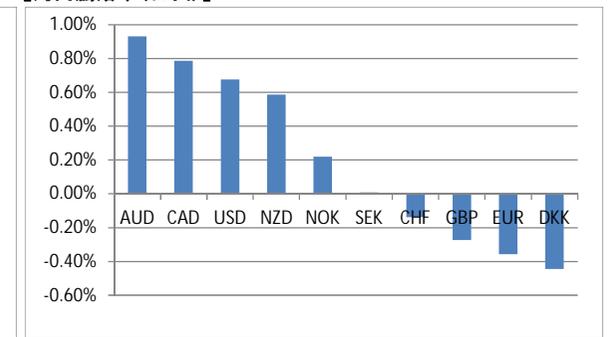
【本日の予定】

Date	Time	国	Event	予想	前回
1月4日	19:00	欧	CPI予想/CPIコア(前年比)	12月 1.0%/0.8%	0.6%/0.8%
	21:00	米	MBA住宅ローン申請指数	-	2.5%

【ドル円相場】



【対円騰落率(日次)】



アジア	ドル円は方向感に乏しい展開。朝方117.49でアジア時間をオープンしたドル円は、東京市場が祝日となる中、新たな材料もなく値動きは限定的。値幅も20銭程度に留まる等、同水準での揉み合い推移が継続し、結局朝方から若干円高の117.34レベルでロンドン時間に渡った。尚、本日発表された中国12月財新製造業PMIは、記録を越える2014年以降で過去最高値となる51.9となり、中国経済の底堅さを感じさせる結果となった。(香港14:30)
ロンドン	ロンドン市場のドル円は、117.34レベルでオープンし、米長期金利の上昇や堅調な欧州株の推移等を背景に118.35まで上昇。118.16レベルでNYに渡った。ポンドドルは、1.2304レベルでオープン。序盤は、米金利上昇を背景にドルが買われたことで、ポンドはドルに対し1.2248まで値を下げるも、主要産油国の協調減産が今月から開始したことで北海プレント原油価格が急騰し、英FTSEを史上最高値に押し上げると反転。英12月製造業PMIが2年半ぶり高水準(56.1)となり、市場予想(53.3)を上回ると、オープンレベルまで買い戻され、その後、小振り1.2276レベルでNYに渡った。(ロンドン17:00 00531 444 179 山本)
ニューヨーク	米長期金利の上昇を受けてドル円は117円台前半から118.35まで上昇し、118.16レベルでNYオープン。朝方発表された米12月ISM製造業景況指数が予想を上回り、約二年ぶりの水準まで上昇したことを受けてドル円は高値の118.60まで上昇。しかし米長期金利、WTI原油が反落したことや、ドル円は先月高値の118.66のレベルが意識されたこともあり反落。その後、トランプ次期大統領がSNSで米大手自動車に対し「米国内での自動車生産に切り替えないと、高額の関税を課す」と発言したことや、他の米大手自動車もトランプ氏に批判され、16億ドル規模のメキシコ工場新設計画を白紙に戻したとの報道を受けて、トランプ政権による通商政策リスクが明るみになったこともあり、リスク回避の動きからドル円は117.28まで下落。しかし、この日の安値となる117.20を手前下に下げ渋り、117.73まで値を戻し、117.65レベルでクロスした。一方ユーロドルはドル買いが優勢となる中、高値の1.0490から軟調に推移し、1.0380レベルでNYオープン。堅調な米経済指標を受けてユーロドルは安値の1.0345まで下落。しかしその後、米長期金利が低下したことや、トランプ氏にまつわる通商政策リスクを受けて1.0432まで上昇し、1.0405レベルでクロスした。

【予想レンジ】

通貨ペア	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY
想定レンジ	117.40~118.40	1.0350~1.0450	121.50~123.50

【マーケットインプレッション】

年末年始の海外市場ドル円相場は堅調推移。3日には欧州時間に上昇を示した米長期金利や2年半ぶり高水準まで上昇した米12月ISM製造業景況指数を背景に、ドル円相場は11月高値118.66に迫る118.60まで上昇した。本日は底堅い値動きを予想する。トランプ相場によるドル高進行の悪影響が危惧されたISM製造業景況指数であったが、大規模財政支出への期待が上回ってセンチメント悪化は確認されなかった。今週末の米雇用統計を控える中、米製造業の堅調さが確認された事で、足許のドル円相場は底堅く推移する事を予想する。

当資料は情報提供のみを目的として作成したものであり、特定の取引の勧誘を目的としたものではありません。当資料は信頼できると判断した情報に基づいて作成されていますが、その正確性、確実性を保証するものではありません。ここに記載された内容は事前連絡なしに変更されることもあります。投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断なさるようお願い申し上げます。また、当資料の著作権はみずほ銀行に属し、その目的を問わず無断で引用または複製することを禁じます。